

標 題： Diet and the risk of breast cancer in Spain
スペインにおける食事と乳癌のリスク

著 者： M.-C. Landa, et al. (スペイン ナバラ病院 腫瘍科)

掲 載 誌： Eur. J. Cancer Prev. 3: 313-320 (1994)

要 旨： 乳癌の原因における食事の役割に関する症例-対照研究を1988~1991年の間にスペイン北部のナバラで実施した；乳癌の女性100人および同じ期間に入院した100人の病院対照に食品摂取アンケートを用いて面接した。

症例は果物、野菜および魚の有意に低い摂取を報告した；最低摂取者(3段階)の相対リスク(RR)は；果物 RR=3.83、信頼限界(CL)=9.12-1.66、P=0.01；野菜 RR=1.92、CL=4.57-0.80、P=0.09；魚 RR=0.32、CL=6.31-0.83、P=0.05であった。

リスクは加工肉の最高摂取者(3段階)で上昇した、RR=3.20、P=0.05。

各食品品目の典型的な分量の栄養素含量にその食品を1ヵ月当り使用する頻度を掛け算して栄養素摂取を見積もり、全ての食品品目の見積もりを加えた。

症例はビタミンC(アスコルビン酸)および1価不飽和脂肪酸の有意に低い摂取頻度を報告した；総カロリー摂取を調整した後で、ビタミンC (RR=0.40、CL=0.2-0.9) および1価不飽和脂肪酸 (RR=0.30、CL=0.1-1.08) の摂取でRRを算定した。

キーワード： 乳癌リスク、地中海食事

注) 魚についてはRR=0.32、CL=6.31-0.83と一致していないので、誤植と思われる。
実際のRRは0.32の逆数3.13かもしれない。